

【活動の主題】 滋賀大学教育学部附属小学校 創立150周年記念事業

【副題】 ～子供たちの「心が動く」1年～

【学校名】 国立法人滋賀大学教育学部附属小学校

1 本校の概要

本校は、明治8（1875）年に、小学校教員伝習所の附属小学校として創立しました。その後、滋賀県師範学校附属小学校と改称し、滋賀県女子師範学校附属小学校と統合後は滋賀大学滋賀師範学校附属小学校、さらに滋賀大学学芸部附属小学校、滋賀大学学芸学部附属小学校と改称が続き、昭和41年に滋賀大学教育学部附属小学校となり、現在に至ります。教員養成、研究開発、地域のモデル校であることを使命とし、教育活動を展開しています。

2 取り組んだ内容

創立150周年を迎え、8つの事業に取り組みました。

（1）創立150周年記念キャラクターを作成

児童会運営部の子供たちからの呼びかけで、全校児童にキャラクターのデザインを募集しました。多数の応募の中から、3年生児童が考えた「附ぞクジラ」が選ばれました。「クジラのように志を大きく、心を大きく成長できるように」という願いが込められています。現在は、愛着心が芽生え、様々な場面で使用されています。

（2）歴史写真館

保存されている写真をプリントアウトして、図書室前の廊下に年代ごとに掲示しました。行事や学校生活の様子について写真をとおして遡り、歴史と伝統を感じることができました。

（3）であう学習

元Jリーガー、ファイナンシャル・プランナー、滋賀大学の教授、データサイエンス学部の院生を講師として迎え、本物に「であう学習」を実施しました。専門的な知識をもった方々と出会い、授業を受けることで深い学びを得ることができました。中には、将来の夢に繋げる思いをもつ児童もいました。

（4）先輩に学ぶ

以前、附属小学校に勤務されていた教員のOBを迎え、勤務当時の小学校の話をしていただくとともに、専門

教科での授業をしていただきました。子供たちは、教員OBの人間性と学習の問いに魅了され、目を輝かせて学習や活動に取り組みました。



（5）創立150周年記念式典

滋賀県知事、大津市長、滋賀県議会、滋賀県教育委員会、大津市教育委員会、学区の自治会長、附属学校園後援会・同窓会、教員OB等多くの来賓の皆様のご臨席をいただき、創立150周年を記念する式典を実施することができました。また、第2部では、本校卒業生による声楽の演奏会を行いました。現在、高校と大学でそれぞれピアノと声楽を専門的に学んでいるお二人の美しい演奏に、子供たちは見入っていました。小学生時代の話も聞かせていただきました。今の小学生と同じように、音楽会や合唱団の活動をされていた話を聞いて、身近に感じるとともに憧れの気持ちを抱いたようです。

3 活動の成果

上記の事業の他にも、PTAから記念給食として、バームクーヘンを提供していただきました。また、航空写真を撮影して、写真、ステッカーやクリアファイルも記念品としていただきました。附属学校園同窓会主催による大同窓会も行われ、26歳から89歳までの年代の方々が、約300人集われました。

それぞれの事業をとおして、長い歴史と伝統を実感することができました。また、その歴史の中で、本校の教育理念である「いまを生きる」ことの大切さについても考えることができました。さらに、多くの方々に、附属小学校を支えていただいていることも、改めて感じることができました。子供たちにとっても、教職員にとっても、心が動く場面がたくさんありました。それぞれの事業が、今の自分を見つめ直し、そして未来の自分を見つめる活動や学習になりました。

